

# 令和6年度 東京都立石神井特別支援学校 学校経営計画

東京都立石神井特別支援学校長

中島 由美子

児童・生徒が、豊かに生きる力を育む教育を行うため、安全・安心な教育環境を整え、全校教職員が組織的に教育活動を展開する学校経営を行っていく。

今年度も児童・生徒の自ら学ぶ意欲を引き出し、主体的に学ぶ力や自立と社会参加するために必要な力を身に付けるための教育の充実を図り、教育課程を適正に実施していく。

## I 目指す学校

### 教育目標

「一人一人が可能性を十分に掘げ、地域に根ざした生活の中で自立的な社会参加を目指す」

- ・ 健やかな心と身体を培う
- ・ 意欲的に活動する
- ・ 自ら考え、表現し、行動する
- ・ 豊かな人間関係を築く

- 安全・安心な教育環境のもと、個別最適な教育を実施する学校
- 個別指導計画によるきめ細かな指導により、自ら意欲的に行動する力を育成する学校
- 自己肯定感を育む教育活動を重視し、キャリア発達を踏まえた成長を支援する学校
- 教職員が人権感覚を磨き、多様性を尊重し、共生社会の実現に貢献する学校
- 専門性に裏付けられた系統的な教育活動を展開し、児童・生徒の発達を支援する学校
- デジタル技術を活用した教育を推進し、情報発信する学校
- 体罰の根絶、いじめ・自殺未然防止、個人情報の保護など、危機管理の徹底と迅速な対応を図る学校
- 特別支援教育のセンター校として、通学区域内関係機関との連携を推進する学校
- ライフ・ワーク・バランスを意識し、教職員が生き生きと働けるよう、働き方改革を推進する学校

## II 中期的目標とその達成に向けた方策

	中期的目標	方策
学習指導	質の高いきめ細かな指導の充実を図り、個に応じた指導の充実を図る。	個別指導計画等をツールとして日常的に活用し、指導内容の可視化に努める。
	知的障害教育や多様化する児童・生徒の障害特性に応じた教育の充実を図る。	外部専門員を活用し、障害特性に応じて構造化や視覚支援について整備・充実を図る。
	オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを構築し、スポーツ、文化・芸術に係る教育活動を推進する。	スポーツ、芸術、日本の伝統文化等、学習した内容を発展的に継続できるようカリキュラム・マネジメントに努める。
生活指導	危機管理計画に基づき、児童・生徒の健康と安全の確保、危機管理機能の向上を図る。	児童・生徒の健康と安全を第一に、保護者や関係機関と連携し、組織的に危機管理の充実を図る。

進路指導	将来の自立に向け、一人一人の発達段階に応じた勤労観、職業観を育む。	高等部卒業後を意識し、体験を重視しながら、キャリア発達を踏まえた進路指導を推進する。
特別活動	児童・生徒一人一人の実態に応じ、教育活動により積み上げた学習の成果を発揮する。	行事等の工夫を図り、体育、文化・芸術教育を推進する。
研究研修	知的障害教育における専門性の向上を図る。	組織的な授業研究、校内における研修活動や外部機関等を活用した専門研修を充実させる。
センター的機能	特別支援教育のセンター校としての役割を推進し、支援の充実を図る。	コーディネーターを中心に、地域の保育園・幼稚園、小・中・高等学校との連携を推進する。
学校経営	業務効率化の工夫に努め、学校における働き方改革を推進する。	多様な工夫による業務遂行の円滑化を図り、教職員のライフ・ワーク・バランスを確立する。 校務のDX化、ペーパーレス。
	体罰の根絶、いじめ・自殺の未然防止、個人情報保護等、危機管理の徹底を図る。	体罰やいじめ等に関するアンケートや防止研修を充実させ、危機管理体制を強化する。
	計画的、効率的な予算執行を行うため、長期的な予算計画を立案し、校内環境の改善を図る。	学校経営支援センター支所との連携強化を図り、適切な予算編成、効率的な執行に努める。

### Ⅲ 今年度の目標と方策

#### 1 教育活動の目標

学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 個別指導計画及び年間指導計画をツールとして活用し、指導内容の充実を図る。</li> <li>② タブレット端末等、デジタルを活用した教育、指導の充実を図り、教材開発を促進する。</li> <li>③ 自立活動、心理、発達障害、ICT等に外部専門員を活用し、学習指導の質的向上を図る。</li> </ul>
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 国や都の方針に基づき、感染症対策をし、安全・安心な環境の構築に努める。また、総合的な安全教育を実施する。</li> <li>② 安全で安心なスクールバスの運行に向け、学校、保護者、スクールバス会社相互の連携を図る。</li> <li>③ 一人通学の実現に向けて、一人通学指導計画書を作成し、家庭と協力してきめ細かい指導を行う。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キャリア発達に応じた就業体験を行い、勤労観、職業観を育成する。</li> <li>② 保護者向け進路講演会等を企画し、就労等の学校卒業後の最新の進路情報を、保護者に提供する。</li> <li>③ 高等部との連携を図り、中学部生徒の高等部普通科への学校見学を実施する。</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>① オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを構築し、児童・生徒の興味・関心の幅を広げる。</li> <li>② 日本の伝統文化にふれる体験を通して文化への理解を推進する。</li> <li>③ 日常の教育活動の成果発表としての学習発表会や宿泊・校外学習の体験活動の充実を図る。</li> <li>④ 地域、近隣、関係機関等と連携し、SDGsの推進や社会貢献活動を行う。</li> </ul>
健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療的ケア、緊急時アレルギー対応について、安心・安全を確保できるよう組織的に対応する。</li> <li>② 精神科校医を活用した療育相談を年間通じて実施し、心身の健康づくりを推進する。</li> <li>③ 偏食や肥満の改善及び口腔衛生の向上に努め、健康な食生活と生活習慣の確立を支援する。</li> </ul>

研究研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>① OJTチームによる授業研究を充実させ、教員の指導力向上につなげる。</li> <li>② 知的障害教育における授業づくりの工夫について研究を深め、教員の専門性の向上を図る。</li> <li>③ 若手教員育成研修、中堅教諭等専門性向上研修により専門性、授業力の向上を図る。</li> </ul>
センター的機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校や学区域を中心に区市と協働して、特別支援教育の充実と理解啓発を図る。</li> <li>② 専任コーディネーターを中心に、通学区域内の関係機関と連携し、センター的機能を発揮する。</li> <li>③ 地域指定校と連携し、副籍制度における交流の充実を図り、地域の理解推進を図る。</li> </ul>
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>① デジタル等を活用し、会議運営等の効率化、適正な進行管理、業務精選を追求する。</li> <li>② 服務事故の根絶及びいじめ防止研修を実施し、人権を尊重した指導への意識を醸成する。</li> <li>③ SNS等の積極的な活用による情報提供を行い、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。</li> <li>④ 学校における働き方改革プランに基づき、定時退庁日等による計画的業務遂行の促進に努める。</li> <li>⑤ 産業医と連携を図り、職場環境の改善に努め、職員の健康管理・メンタルヘルス対策を推進する。</li> <li>⑥ 経営企画室の学校経営参画を推進する。</li> <li>⑦ 学校施設・設備の改修工事を円滑に計画的に安全実施する。</li> </ul>

## 2 重点目標とその達成に向けた具体的方策

重点目標	具体的方策
<b>ア 学習指導</b>	
個別指導計画等における適切な目標設定、効果的な指導方法・内容の充実を図る。	個別指導計画等に基づいた学習成果の的確な把握、評価・改善
ICT機器を活用した学習指導、教材作成	全教員、ICT機器を活用した実践
外部専門員を活用した指導の充実	全校で外部専門員を活用。年間750時間
<b>イ 生活指導</b>	
日常の感染症等対策に努め、自ら身を守る教育の実施 事故等の未然防止と緊急時の対応マニュアルの徹底	感染症対策の実施、的確な情報収集・環境構築 避難訓練、宿泊防災訓練等、緊急時の的確な対応訓練実施
安全で安心なスクールバスの運行（全11コース）	スクールバス乗務員研修の実施（年間3回以上）
一人通学練習計画の充実	実施者の一人通学指導計画の作成100% 段階的な訓練の実施
<b>ウ 進路指導</b>	
中学部の就業体験学習の充実	中学部3年間で3回の就業体験・職場見学実施
小学部の就業体験学習の充実	小学部5・6年生年各1回の就業体験実施
保護者の進路指導についての理解促進	たよりの発行、年1回の保護者進路研修会の実施
<b>エ 特別活動</b>	
オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを構築し、体育的、文化・芸術的活動・行事の充実	体育健康教育の推進、芸術・文化プログラム等の実施

学習発表会での日常の教育活動の成果発表や宿泊・校外学習等、体験活動の充実	学習発表会（12月）の参観者200名以上（状況に応じて内容・方法等の工夫を図る。）
SDGs、社会貢献活動に関する取組の実施	保護者、地域、関係機関等と連携した活動の実施
<b>オ 健康づくり</b>	
医療的ケア、食物アレルギー対応等の安全実施	医療的ケア安全委員会・担当者会（各学期）。アレルギー対応訓練・研修会実施、個別面談の実施
精神科校医を活用した心身の健康づくりの推進	精神科療育相談10ケース以上
食育の推進、健康増進・体力向上のための取組	食育に係る情報配信、給食時、毎回
<b>カ 研究研修活動</b>	
主体性を育む国語・算数/数学の授業研究	アセスメントを活用した授業実践
OJTチームによる研究授業、研究会の充実	チームによる研究授業及び研究会協議会3回以上
個に応じた教材・教具に関する研修会の実施	研修会2回以上
デジタル技術を活用した教育推進のための教員研修	適時実施
<b>キ 特別支援教育センター的機能</b>	
幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校等への特別支援教育の推進への支援・助言	適時実施
放課後活動事業所等との連携	通年
近隣校との交流教育・副籍交流の充実	通年
<b>ク 学校経営</b>	
機能的・効率的なライン化による組織運営、会議運営の効率化と適正な進行管理、校務のDX化	通年
定時退庁日、学校閉庁日の設定・促進による計画的業務遂行の推進	毎週水曜日、長期休業中の定時退庁率80%以上 学校閉庁日：年5日
ライフ・ワーク・バランスの推進	両立支援アドバイザーの活用
産業医と連携した職場環境点検、教職員の健康管理・メンタルヘルス対策の推進	産業医による教職員の健康相談の実施（毎月） 安全衛生委員会の開催（毎月）
体罰・いじめ・自殺防止研修、情報セキュリティー研修、学校徴収金等の取扱研修、サービス事故防止研修実施	年間5回以上実施
SNS等による学校広報 効果的な保護者との情報の共有	X（旧Twitter）等による情報発信、年間100件以上 Classiによる文書配信、アンケート調査
職員検診、人間ドック受診率の向上	健康診断の受診率100%
適正な予算編成と計画的な予算執行の管理	センター執行：60%、1月：執行率75%
学校施設・設備の計画的な改修工事の実施（体育館）	体育館の改修工事の安全実施